

1. 投稿者の資格

原則として本会会員に限ります。とくに研究と報告（原著、短報、技術報告、症例報告、調査・研究報告）、総説の場合は、筆頭著者が本会会員であることを要します。

2. 論文の種類と内容

査読付き論文の種類には、「研究と報告」（原著、短報、技術報告、症例報告、調査・研究報告）、「総説」他があり、その内容は義肢装具・リハビリテーション工学に関係したものとします。他誌に掲載されたもの、掲載予定のもの、自らあるいは第三者のホームページなどに収載または収載予定のものはご遠慮ください。「特集」「講座」は原則として編集委員会からの依頼によるものとします。

執筆に際しては、次の点に注意してください。

本会誌の読者は、医学・工学など自然科学の広い分野に属しているため、論文にはあまり専門的な知識を持っていない読者にもおおよその理解ができるような配慮が望まれます。また、ヒトを対象とする研究は、被験者の人権を尊重して倫理上適切に対応する必要があります。

2-1 研究と報告（原著、短報、技術報告、症例報告、調査・研究報告）、総説

義肢装具・リハビリテーション工学およびこれに関する分野の、学術上および技術上の価値がある新しい研究（開発）成果や調査結果を記述した報告とします。本会では「研究と報告」をダブル・ブラインド方式による査読を行います。そのため基本的には、このジャンルの全ての論文が査読付き原著論文の扱いとなりますが、論文の特性や研究内容の貴重性などから、本会では以下のジャンルに振り分けられます。

原著：「はじめに」「方法」「結果」「考察」「まとめ」のスタイルで構成するものとします。「はじめに」で、その研究で何を明らかにしたいのか（仮説）を明示してください。「対象と方法」では、データの信憑性と再現性のある研究手法を明らかにしたうえで「結果」を示してください。「考察」では、文献などを参考に補足・対立する証拠の評価を行って仮説を証明してください。特に原著論文では、著者のオリジナリティを有し、原則的に未発表で、取り扱う問題が1つであり、かつ客観的な結果と議論から得られた結論には再現性があり、一般性と不偏性を得ていることが必要となります。

短報：論文の形式は原著と同じです。とりあえず早く発表したいときなどに利用する形式で、十分な「考察」は不要ですからそれだけ論文は短くなります。ただし、後から同じ内容のものを原著で発表する場合は、「考察」の加筆だけでなく、さらに詳しいデータを含めた肉付けが必要です。

技術報告：「はじめに」「技術説明」「方法」「結果」「考察」のスタイルで構成するものとします。その技術がどの程度拡大・発展する可能性があるか、また、それが新しい技術であるかを示してください。

症例報告：「はじめに」「症例」「考察」のスタイルで構成するものとします。新たに考案した義肢や装具、難易度の高い症例に対する義肢装具の設計などによってこれまで以上に高いゴールに到達した症例や、新たな方法を具現化し得た症例、思わぬ展開を示した症例などが対象です。特に症例報告では、対象症例に対して、どんな手続き（方法：工夫、調整など）を取った結果、どうなったか経過を示すことが重要であり、可能ならば比較した結果を示すことで症例報告の意義が高まります。

調査・研究報告：「はじめに」「方法」「結果」「考察」「まとめ」のスタイルで構成するものとします。「はじめに」で、その研究で何を明らかにしたいのかを明示してください。「対象と方法」では、データの信憑性と再現性のある研究手法を明らかにしたうえで「結果」を示してください。「考察」では、文献などを参考に補足・対立する証拠の評価を行ってください。また、原則的に未発表で、取り扱う問題が1つであることが必要となります。

総説：総説論文とは、特定の分野やテーマに関する先行研究を集め、システムティックレビューとして統計学的見地から体系立ててまとめることで、その分野やテーマの概説や研究動向、展望を示すことを目的とした論文とします。そのため総説論文は新しい事実や成果の発表ではなく、専門分野やテーマ全体の概要を知ることができうる内容で、対象分野のテーマを俯瞰して捉えている必要があります。その分野の研究を始めるうえで読むべき論文の代表格となります。

2-2 その他

「海外事情」「セミナー報告」「印象記」「書評」があり、国際会議参加または、セミナー等の講習会参加の印象記や義肢装具関係の書物を閲覧した際の感想を含む書評などを会員にお伝えしたい場合にご利用ください。

3. 論文の採否

論文の採否は、本誌編集委員会が査読のうえ決定します。内容の変更あるいは短縮、論文の種類の変更を求めることがあります。論文の種類の変更の場合、原稿の枚数や図表の数の削減を求めることがあります。また、著者に承認を求めたうえで論文の種類を変更することがあります。

4. 著作権・書誌データ等の扱い

原稿の著作権は、日本義肢装具学会に帰属します。掲載

後の書誌データおよび抄録を学会として特定非営利団体の学術データベースに提供します。論文は本誌掲載の後にオンライン公開します。

5. 著作権に関わる事項

- (1) 投稿論文は、既発表または投稿中の論文と本質的に同じ内容（他言語に関わらず）でないものとします。なお、学術大会の演題発表抄録や学位論文で既に報告している場合には、その旨を論文内に記載してください。
- (2) 出版物や情報媒体からの引用による記述は、参考文献の引用や出典の記載などによって、その記述箇所において、すべてそのことを明らかにしてください。
- (3) 図・グラフなども含め、他の著作物の著作権を侵害するような記述は避けてください。やむをえず転載が必要な記述については、該当する他の著作物の著者や出版元から転載許諾を書面で得てください。もし、転載料など費用が発生する場合には、著者の側で対応をお願いします。
- (4) 執筆内容に本質的に関わった人、ないしは執筆そのものに貢献した人を共著者に含め、投稿に関する同意、著作権譲渡に関する権限について著者（筆頭著者）および共著者全員が論文投稿同意書に自筆による署名をして、投稿時に学会誌編集部にお送りください。
- (5) 執筆内容について、必要に応じて著者の所属機関の然るべき権限を有する者の同意を得てください。
- (6) 論文の掲載に際し、論文の責任および著作権譲渡の確認のため、共著者が内容の承認をしたうえで、著者（筆頭著者）が著作権譲渡書に自筆による署名をして、掲載決定後、著者校正時に学会誌編集部にお送りください。

6. 知的財産権および倫理に関わる事項

- (1) ヒトを対象とした研究に関する記述がある場合、著者が研究を行った所属機関に設置された倫理審査委員会等の承認を得てください。もしくは、そのような手続きを必要としない範囲の場合も、文部科学省が制定する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、対象者から書面による同意を得たうえで、また、研究成果の客観性を担保するよう対象者の人権に配慮した環境を整えたうえで研究を行ってください。そして、これらの事項は、論文中において明記してください。
- (2) 研究段階、論文の執筆段階、ならびに論文の記載内容において、個人情報保護法をはじめとする各種の法令、その他の適用されるべき基準ならびに規則等には十分な配慮を払い、それらには抵触しておらず、また、社会通念に照らして問題が生じるような可能性のないことをご確認ください。特に個人が特定さ

れる可能性が高いと考えられる記述、写真、歩容等の情報（いわゆる個人識別符号）がある場合、実際に掲載される画像、情報について患者（あるいはその代諾者）からの書面による同意を得てください。またこれらの事項は論文中において明記してください。

- (3) 共同研究の成果に関わる箇所がある場合、共同研究者の承諾を得てください。
- (4) 記述内容は、客観的な事実あるいは、定説とされている内容に立脚したもので、そのことを明らかにするために必要な参考文献は、すべて引用してください。
- (5) 本誌の著者は投稿論文に関連する利益相反（COI）を論文本文中に開示してください。論文本文の末尾（謝辞の後、引用文献の前）に「利益相反」の項を設け、当該論文に関連する全著者のCOI状態を記載してください。開示すべきCOIがない場合もその旨を記載してください。開示対象は過去3年間とします。
- (6) 以下に該当する事項がないことをご確認ください。
 - 既存の方法・技術・製品などに関する記述において、学術的根拠なしに批判、また、それらの記述において、非難・弾劾・告発・誹謗中傷と受け取られる可能性。
 - 写真や意匠などに、肖像権、意匠権などを侵害する恐れのあるもの。
 - 差別的な用語・表現、およびそのように受け取られる可能性のある記述。

7. 執筆規定

7-1 原稿の構成

原稿の構成は以下の6種類となります。

- ① 投稿論文表紙
- ② 抄録
- ③ 本文
- ④ 図表一覧
- ⑤ 論文投稿同意書
- ⑥ 著作権譲渡書（論文が採択された後に提出）

原稿構成の4種類（①投稿論文表紙、②抄録、③本文、④図表一覧）を印刷またはデータ化してください。文書ファイルのデータ化にあたっては、ファイル形式はDOC(X)ファイルとしてください。図表作成において、使用するデータの形式は問いませんが、最終的にはMicrosoft Wordの中に図表を貼り付けて、DOC(X)ファイルとしてください。

論文投稿同意書は論文投稿時に著者全員の署名を得たうえで郵送またはスキャンしたデータをE-mailでお送りください。

著作権譲渡書は掲載決定後、著者校正時に筆頭著者が直筆で署名し、郵送またはスキャンしたデータをE-mailでお送りください。

7-2 原稿の送付

投稿希望者は、次のいずれかの方法で学会誌編集部へご投稿ください。

① 郵送の場合

正原稿にコピー2部をそえて投稿論文表紙とともに送付してください。

② E-mail の場合

文字原稿(抄録および本文)、表、図を1つのファイルにまとめるか、文字原稿、表、図をそれぞれ1つのファイルにして投稿論文表紙とともに送付してください。お送りいただくファイルはWord(DOC(X))としてください。

送付先：〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

一般財団法人学会誌刊行センター内

日本義肢装具学会誌編集部

TEL：03-3817-5821 FAX：03-3817-5830

E-mail：edit-jspo@capj.or.jp

7-3 原稿の形式

原稿用紙は原則としてA4判を用い、横書きとし、40字×30行で行間を広くとって打ち出す。文字数は、7-4 原稿の字数を参照のこと。

7-4 原稿の字数

- (1) 総説：図表を含めて20,000字以内。図表は16以内。
- (2) 原著：図表を含めて12,000字以内。図表は10以内。
- (3) 短報：図表を含めて4,000字以内。図表は5以内。
- (4) 技術報告、症例報告、調査・研究報告：図表を含めて4,000～12,000字以内。図表は10以内。
- (5) その他：図表を含めて4,000字以内。図表は2以内。
- (6) (1)～(5)について図表1枚は400字と換算。本文とは別の用紙に1枚ずつ作成。
- (7) 文字数は抄録、本文、引用文献を含む。

7-5 原稿の書き方

- (1) 文章は日本語として、常用漢字、新かなづかいを用い、慣用の学術用語および技術用語を使用してください。とくに義肢装具関連の用語については一般社団法人日本義肢装具学会用語委員会による日本義肢装具学会用語集(www.jspo.jp/yougo.html)に準拠するものとします。また、機種依存文字は使用しないでください。
- (2) 学会誌巻末に綴じ込みの論文表紙に、題名、希望するジャンル、著者名(職種)、所属、住所その他を明記してください。
- (3) 題名には一般化していない商標や商品名などの固有名詞は使用せず、一般的な表記としてください。
- (4) 題名、著者名、筆頭著者の連絡先には、必ず和文と対応する英文表記を加えてください。
- (5) 本文の他に、研究と報告には必ず論文の抄録として、和文と英文の両方で記載していただき(和文では300字程度、英文では200 words程度)、添付してください。英文の抄録に関しては、掲載決定後に英文

校閲を経て掲載されます。和文でのみ抄録を書かれた場合も受け付けますが、その場合は、掲載決定後に和文の抄録を専門家に依頼し英文に翻訳させていただきます。その際の費用は、本学会が一部援助し、著者には6,620円を負担していただきます。あらかじめ英語で作成されている場合は本学会が校閲料を負担し、著者への料金の負担は生じません。

(6) 記述上の注意

- (イ) 本文の章に相当する大きい見出しは、順次1, 2, ……のようにして書き、節および項に相当する見出しはそれぞれ1-1, 1-2, ……および1-1-1, 1-1-2 ……それ以降の項は(1), (2), ……のようにして、行の左端から書き、本文はこれに行を変えて書いてください。
- (ロ) 図および表はA4判の用紙に1つずつ作成してください。図表の番号は、図1, 表1などとし、これに説明文を加えてください。
- (ハ) 写真は濃淡のはっきりしたものとし、図および表はそのまま写真製版できるよう正確、鮮明なものを作ってください。また、編集後のレイアウトや縮尺率を念頭において大きさや縦横の比率などを決定してください。複雑な表は書き直しを依頼することがあります。

7-6 引用文献

本文中の該当個所の右肩に^{1,2)}の形で文献番号を記入してください。印刷中の論文は印刷中あるいはin pressと記してください。著者が2名以上の場合は筆頭著者のみとし、残りは○○ 他、あるいは○○ et al.と記載してください。

文献の書式は、Natureスタイルとし、文献の書き方は、次のようにします。

① 雑誌の場合

著者名、表題名、雑誌名、巻、最初のページ-最後のページ(発行年)。

(例)

山本澄子 他. 油圧を利用した短下肢装具の開発. 義装会誌 18, 301-308 (2002).

Lergro, M.W. et al. Prosthesis evaluation questionnaire for persons with lower limb amputations: Assessing prosthesis-related quality of life. Arch. Phys. Med. Rehabil. 79, 931-938 (1998).

② 単行本の場合

著者名、章名、編者名(編)、書名、版数、引用頁、出版社名、発行年。

(例)

内山孝憲 他. 運動単位の活動様式を模擬する筋張力制御のためのニューラルネットワークモデル. バイオメカニズム 15, 143-152, 東京大学出版会, 2000.

Braune, W. et al. Attitudes of the loaded body. On the Centre of Gravity of the Human Body. 71-90, Springer-

Verlag, 1985.

③Web ページの場合

補装具費支給制度の概要. URL : <http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/yogu/gaiyo.html> (2016年7月30日参照)

Edword, L. Gait Outcomes Initiative. URL : http://www.ispoint.org/sites/default/files/go_initiative_guidlines.pdf (2016年7月30日参照)

7-7 キーワード

研究と報告, 総説には, キーワードを最大5つまで選んで投稿論文表紙に記入してください. キーワードは, 日本語およびそれに対応する英語で記載し, 日本語(英語)で記載してください.

8. その他

8-1 原則として掲載料はかかりません. 責任著者に対して論文のPDFデータを配布いたします. 別刷りは希望があれば無料で50部を贈呈しますが, それ以上希望する場合は, 著者校正時に申し込んでください.

8-2 図表のカラー印刷を希望する場合, 費用は自己負担となります(1ページにつき約6万円). 希望者は原稿提出時に申し出てください.

8-3 掲載通知と同時に, 電子媒体の提出を求めますので, 最新データを保存しておいてください(原則として電子媒体の返却はいたしません).

8-4 著者校正は1校とし, 誤植の訂正に留めてください.